

「この人 78」

大澤酒仙奴 50歳 群馬県

編集部 俳句を始められたきっかけは？

大 澤 二〇一三年十二月大晦日からです。フェイスブック上で、一茶の「ともかくもあなたまかせの歳の暮」をもじって、「ともかくも思ひ出深き歳の暮」として、何となく載せたのがきっかけです。

編集部 滑稽俳句を始められたきっかけは？

大 澤 会長のご著書「俳句 人生でいちばんいい句が詠める本」に、滑稽俳句協会の紹介があり、サクサクと入会を決めました。二〇一四年八月のことです。

編集部 滑稽俳句の魅力とは？

大 澤 「茶目っ気」も「パロディ」も、大いに許され認めて頂けるところです。

編集部 俳句における「滑稽」とは？

大 澤 例えるなら…、選挙ポスターにこっそりとホクロやらシワを目立つような目立たないような感じで描き込み、その下手人と洒落の分かる人がクスリと笑えるイメージです。

編集部 滑稽俳句を続けていて良かった事は？

大 澤 近所の句会に入っております。こちらはごく真面目。そこで発散できない分、こちらで伸び伸び詠ませて頂いているので、ストレスが溜まりません。

編集部 滑稽俳句を作るコツは何でしょうか。

大 澤 ニヤッとできた句材をサラッと句に詠み込むことかなあと思っています。

【代表句】

あの月はみんなのものと子を論し
釣り人のつむり搔き搔き茸など
父ちゃんも来て欲しかった運動会
うたた寝の味はおぼろの今年酒
年忘れ馴染まぬ靴で帰りけり